

XI 市立博物館

1. 基本方針

博物館法の趣旨に基づき、「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを理念に社会教育機関としての使命を果たすため、1999(平成11)年6月に開館した。

博物館事業については、歴史、民俗、考古、自然に関する資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに市民の利用を積極的に推進するとともに、市民の皆様から寄贈していただいた貴重な資料の公開事業として各種の「企画展」や「講演会・野外見学会」などを開催している。また、学校との連携を推進して児童生徒の地域学習の場を提供し、博物館を起点に地域と学校とを結ぶ架け橋となる博物館運営を進めている。

2. 重点目標

博物館では、本市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催する。また、生涯学習時代に対応するために地域と連携し、教育的需用に応える地域学習の場として博物館市民講座を開講する。あわせて学校との連携を推進し、児童・生徒の地域学習の場として、博物館での体験学習や展示資料を利用した授業の実施などの充実を図り、地域に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成に努める。

そして「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを目的として時代のニーズに合った「学校現場と地域団体の文化活動の拠点」となる市民参加型の博物館を目指す。

3. 施設の内容

○敷地面積:4,710㎡

○建築面積:1,390㎡

○延床面積:1,999㎡[一階:1,281㎡、二階:311㎡、地下:394㎡、その他:13㎡]

名称		主な利用内容	面積
展示部門	常設展示室	宜野湾市の歴史などの“あらし”をいつでも学べる場所。	400㎡
	企画展示室	市の特色を知る期間限定の企画展や講演会等を行う場所。	130㎡
	展示準備室	企画展や講演会などの準備を行う場所。	23㎡
収蔵部門	大収蔵庫	歴史・民俗・考古などに関する博物館資料を保管する場所。	192㎡
	特別収蔵庫	紙類や布類などの博物館資料を保管する場所。	48㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫と特別収蔵庫への虫菌などの侵入を防止する場所。	15㎡
	くん蒸室	博物館資料の殺虫・殺菌の作業を行う場所。	18㎡
	地下倉庫	石製品や陶製品などの博物館資料を保管する場所。	394㎡
	1階倉庫	博物館の行政文書や書類などを保管する場所。	12㎡
	2階資料・倉庫	地図や写真などの博物館資料を保管する場所。	33㎡
	荷解・梱包室	博物館資料の出し入れ時の荷解や梱包などを行う場所。	51㎡
調査研究部門	図書室	沖縄や本市の歴史・文化に関する郷土関係図書の閲覧ができる。	99㎡
	研究室	博物館職員が調査研究や会議等を行う場所。 令和4年5月より一般貸出を開始。	77㎡
	修理工作室	博物館資料の修理、展示物等の製作などを行う場所。	49㎡
管理部門	事務室	博物館職員が日常業務を行う場所。	74㎡
	展示ロビー	綱引きで使用される旗頭、ヨシノボリなどを展示している。	88㎡
	エントランスホール	来館者の休憩スペース、お知らせ等を掲示している。	36㎡
	守衛室	平成28年度から機械警備に変わり、清掃員の休憩室として使用する。	7㎡

4. 開館日・休館日

開館日と開館時間:平日、土・日曜日の午前 9 時～午後 5 時(入館受付は午後 4 時 30 分迄)

休館日:火曜日、祝祭日(慰霊の日、文化の日を除く)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

※その他、くん蒸による臨時休館日あり。

5. 観覧料

○ 平成 20 年 4 月 1 日から、“市民の方々に親しみのある地域学習の場”と、“市の文化的情報を県内外に広く発信”するために、観覧料が無料である。

6. 博物館の収蔵資料

○ 博物館資料収蔵品総数:11,059 点(考古資料の大半は未集計)(令和 4 年 3 月 31 日現在登録数)

○ 図書資料総数:22,873 冊

(平成 27 年 3 月 31 日現在登録数)



常設展示室：エントランス



常設展示室



展示ロビー



企画展示室



図書室



大収蔵庫

8. 令和3年度の活動実績

(1) 自主運営活動 ～展示会・講座・教室等の開催～

【展示公開】

	企画展名	期 間	備 考
1	春の企画展 新収蔵品展 -H30~R02 受入資料-	4/21~5/22	会期:25日、来館者数:301名
2	慰霊の日写真パネル展 沖縄戦の中の宜野湾	7/12~7/25	会期:10日、来館者数:231名
3	東京オリンピック開催記念企画展 すごいゾ! 熱いゾ!! 宜野湾スポーツありんくりん	10/1~10/17	会期:15日、来館者数:341名
4	察度生誕 700年記念パネル展 琉球王国繁栄への道のり	10/1~12/5	会期:58日、来館者数:1,258名
5	琉球大学附属図書館・琉球大学博物館(風樹館)企画展 琉球大学資料にみる宜野湾	10/23~11/21	会期:26日、来館者数:601名
6	小中学校連携展 第29回ぎのわんの文化財図画作品展	12/4~12/26	会期:20日、応募点数:177点 来館者数:452名
7	地域との共同企画展 ぎのわんの字展 ウチカイ美らさ神山	3/9~5/29	会期:68日、来館者数:1,294名
企画展への総来館者数			4,478名

【博物館市民講座】

- 目的:市内外を問わず受講者に宜野湾市の自然や歴史、文化に親しむ地域学習の場を提供する。
(定員:室内講座25名、野外講座10~15名 ※コロナ対策により定員削減)

	講 座 名	開 催 日	講師名及び参加人数
1	ぶらっと、博物館めぐり ~ひめゆり平和祈念資料館~	7/25(野外)	仲田 晃子(ひめゆり平和祈念資料館 学芸係長) 受講者:24名
2	沖縄のホテルとホテルあそび	10/10(野外)	佐々木 健志(琉球大学博物館「風樹館」 助教) 受講者:27名
3	沖縄の戦争遺跡を知ること で分かること ~文化財調査で見えてきたもの~	10/17(講演)	山本 正昭(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員) 受講者:20名
4	西普天間に残るインジャーの地理観 察	10/24(野外)	上原 富二男(沖縄大学 名誉教授) 受講者:14名
5	琉大合同企画展関連① 沖縄のマリアア史からの教訓 ~コロナ禍に伝えたいこと~	10/31(講演)	斉藤 美加(琉球大学 助教) 受講者:18名
6	琉大合同企画展関連② 沖縄における災厄をめぐる民俗	11/7(講演)	赤嶺 政信(琉球大学 名誉教授) 受講者:24名
7	琉球の測量術と印部石のナゾ	11/14(講演)	安里 進(沖縄県立芸術大学 名誉教授) 受講者:25名
8	野球を通して学んだこと	11/28(講演)	島袋 洋奨(興南高等学校野球部 副部長) 受講者:32名 会場が真志喜公民館のため定員増
9	察度生誕 700年記念講座① 伝承で解き明かす察度王の真実	12/5(講演)	伊敷 賢(沖縄歴史伝承研究所 代表) 受講者:23名
10	察度生誕 700年記念講座② 羽衣伝説・察度の足跡を辿る ~首里・那覇~	12/12(野外)	宜野湾市文化財ガイドの会「察度の会」 受講者:22名 大型バスのため定員増
11	琉球藍の話	2/13(講演)	大湾 ゆかり(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員) 受講者:21名
12	歴史の道~中頭方西海道と宜野湾 並松街道~	2/27(野外)	平敷 兼哉(宜野湾市立博物館 館長) 受講者:13名
13	基地内に残る文化財	3/6(講演)	仲村 健(宜野湾市文化課 文化財整備係長) 受講者:25名
14	御殿墓めぐり	3/13(野外)	伊藤 圭(宜野湾市立博物館 学芸係長) 受講者:11名
15	石器が語る沖縄の歴史	3/27(講演)	大堀 皓平(沖縄県教育庁文化財課 主任専門員) 受講者:15名
総受講者数			314名

【わらば～体験じゅく】

○ 目的: 市内在住小学校 5、6 年生 25 名を対象に、普段はあまり関わる事の少ない市内の自然や文化などを 1 年間通して学ぶことを目的とする。また、他校や異学年との交流を図ることで協調性や友情を育むとともに、講師の博物館職員や地域の先輩方との交流も図る。

	講座名	開催日	講師名及び参加人数
1	開校式、博物館探検と昔の道具体験	7/17(館内)	博物館職員 参加人数:22 名
2	漆喰シーサーをつくろう!	10/2(館内)	比嘉 和行(わにや耕房代表) 参加人数:20 名
3	沖縄の石と化石の不思議に迫ろう!	10/23 (野外・館内)	宇佐美 賢(沖縄県立博物館・美術館主任学芸員) 参加人数:24 名
4	ウシのお世話をしてみよう!	—	宮城 邦治(沖縄国際大学名誉教授)、 喜屋武 盛信(闘牛飼育者) 牛舎の都合により中止
5	喜友名のシーサーめぐり	11/27(野外)	博物館職員 参加人数:20 名
6	漆の技法体験	12/18(館内)	宮島 さおり(NPO 法人 ARTLINK) 参加人数:21 名
7	田イモの収穫に挑戦!	—	石川 達義(田イモ農家) 田イモの不作により中止
8	木の実を使って笛をつくろう!	1/29(館内)	宮城 邦治(沖縄国際大学名誉教授) 参加人数:17 名
9	田イモの植付けに挑戦!	2/19(野外)	宮城 徳彦(田イモ農家) 参加人数:18 名
10	葉脈スタンプカードづくり、閉校式	3/19(館内)	博物館職員 参加人数:21 名
総受講者数			163 名

【こども博物館教室】

○ 目的: 児童・生徒の学習の場としての博物館活動の充実を図り、また夏休みの自由研究のサポートを目的に、夏休み学習支援教室の「こども博物館教室」の開催を予定したが、コロナの影響のため中止。

【博物館友の会】

○ 概要: 市立博物館活動の事業に積極的に参加、協力し、併せて会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的に平成 23 年に結成。会員数 115 名(令和4年2月現在)。

	事業内容	備考
1	総会	令和2年度の会計報告・活動報告、令和3年度の事業計画・予算執行計画など。コロナの影響により開催を中止し、運営委員による書面確認を行った。
2	会員向け企画展の展示解説会(年5回)	博物館職員による企画展の解説。 コロナの影響を受けて全5回を中止。
3	サークル活動	・友の会会員で年間テーマを決めて調べ学習を行う。 ・博物館事業の支援活動(田イモの植付け<令和4年2月>)

(2)社会科見学・総合学習・出前講座・学芸員実習・職場体験学習(インターンシップ)

【社会科見学・総合学習】

(単位・人)

見学日時	学校名	学年	児童・生徒数 (引率含む)
令和3年 10月22日(金)	津覇小学校	3	48
11月19日(金)	西原東小学校	3	108
11月22日(月)	宜野湾小学校	3	137
11月22日(月)	長田小学校	3	112
11月26日(金)	普天間小学校	3	93
12月23日(木)	西原小学校	3	103
令和4年 1月21日(金)	はごろも小学校	3	163
2月2日(水)	西原南小学校	3	70
合計		—	834

【出前講座】

(単位・人)

出前日時	学校名	学年	児童・生徒数 (引率者含む)
令和3年 6月2日(水)	中部商業高校	全	750
6月25日(金)	嘉数小学校①	3	140
6月28日(月)	普天間中学校①	全	602
7月9日(金)	普天間中学校②	支援学級	16
9月15日(水)	宜野湾小学校①	6	129
10月7日(木)	宜野湾小学校②	6	128
10月29日(金)	宜野湾小学校③	4	148
11月1日(月)	大謝名小学校①	4	103
11月5日(金)	普天間中学校③	支援学級	16
12月3日(金)	嘉数小学校②	3	140
12月6日(月)	はごろも小学校	3	156
12月10日(金)	普天間中学校④	支援学級	16
令和4年 1月26日(水)	大謝名小学校②	3	108
1月27日(木)	大山小学校	3	96
1月31日(月)	普天間第二小学校①	3	98
2月9日(水)	大謝名小学校③	3	108
2月14日(月)	普天間第二小学校②	3	98
3月4日(金)	普天間中学校⑤	支援学級	16
合計		—	2,868

【学芸員実習】

(単位・人)

学習・実習期間	学校名(学年)	実習生数
8月12日(水)～8月23日(月) 11日間	琉球大学(4年生)、沖縄国際大学 (4年生、科目等履修生)	4(男:2・女:2)

【インターンシップ・教職10年経験者研修】

- コロナの影響により中止。

(3) 令和3年度の入館者数

令和4年3月31日(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
常設展示室	大人	328	158	0	164	0	0	410	311	320	159	200	281	2,331
	学生	23	24	0	21	0	0	60	38	116	7	2	3	294
	児童	51	28	0	42	0	0	111	468	197	51	46	64	1,058
	幼児	49	10	0	5	0	0	57	22	34	28	47	51	303
	小計	451	220	0	232	0	0	638	839	667	245	295	399	3,986
展示室 企画	126	175		231			984	1,165	503			345	3,529	
出前講座等 講演会・			1,492	62		129	419	240	378	319	258	88	3,385	
図書室	0	1		0			25	16	4	10	13	4	73	
総計	577	396	1,492	525	0	129	2,066	2,260	1,552	574	566	836	10,973	

- 補足:地域団体支援:学童クラブや自治会、デイサービス等の団体見学の内訳は、27団体、629名。
5月23日～7月11日及び7月26日～9月30日は、新型コロナウイルス蔓延防止措置による臨時休館であった。

9. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針

(平成 24 年 4 月 4 日教育委員会議決)

	1. 趣旨・目的	<p>【趣旨】 宜野湾市立博物館の運営について、これまでの博物館の基本的な考え方や事業・活動などを踏まえ、開館後の新たな時代の要請に応える役割と機能を再構築した「博物館づくり」を目指して、今後計画する博物館事業・活動の「基本的方針」を策定する。</p> <p>【目的】 ① <u>市民のアイデンティティ創出の場となる博物館</u> 宜野湾市の自然・歴史・文化に対する知識と理解を深め、もって市民文化の向上発展に寄与し、「市民のアイデンティティ創出の場」となる博物館を目的とする。</p>
		<p>② <u>市の歴史・文化遺産を保存し、継承していく博物館</u> 宜野湾市の歴史や文化を伝える歴史・文化遺産を市民の地域学習に供し、これら「市の歴史・文化遺産を保存し、継承」していく博物館を目的とする。</p>
一 基本理念	2. 基本的な考え方 (基本的な性格と機能)	<p>◎<u>宜野湾市の歴史と文化を学ぶ市民学習の場!</u> →市民の文化活動の拠点づくり! 宜野湾市の考古、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集・保管、展示・公開して、教育的配慮のもとに市民の利用に供するとともに、これに関連する調査・研究及び教育・普及活動を行う。</p>
	3. 基本目標	<p>①<u>市民に親しみとやさしさのある地域学習の場!</u> →市民の文化交流の空間(施設)づくり! 生涯学習時代に対応するために、市立博物館の施設が地域と密接に関連し、市民に積極的に利用され、地域社会の共同施設として捉え、多様に増大してきた教育的需要に応じて、地域コミュニティ施設または生涯学習の拠点となるとともに、地域に開かれた「市民に親しみのある地域学習の場」となる博物館を目標にする。また、子供、高齢者、身障者が「安心して利用できるやさしい博物館」を目標とする。</p>
		<p>②<u>児童・生徒に分りやすい地域学習の場!</u> →学校との連携づくり! 学校教育との関連においては、児童・生徒が地域に対する愛着と誇りを育むために、「児童・生徒に分りやすい地域学習の場」となる博物館を目標とする。</p>
		<p>③ <u>森川公園と一体になった博物館!</u> →博物館の環境づくり! 森川公園の水と緑の環境をいかした、宜野湾市のシンボル性の高い博物館を目標とする。</p>
		<p>④ <u>宜野湾市の自然・歴史・文化の情報発信の場!</u> →市民参画、リピーターづくり! 高度情報化及び国際化時代に対応するために、県内、国内のみならず、海外からの来館者のニーズに応えられる、「宜野湾市の自然・歴史・文化の最新の情報発信の場」となる博物館づくりを目標とする。</p>
二 基本方針	1. 基本方針	<p>【基本方針】◎<u>先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画の場!</u> ○ 調査・研究、収集・保管、展示・公開などの博物館活動を通して、宜野湾市の持つ地域的特色の中で育まれてきた自然、歴史、文化に対する知識と理解を深める。また、講演会、学習会などの博物館のさまざまな教育・普及活動を通して、市民とともに地域の歴史・文化遺産を探求し、知の楽しみを市民と博物館の双方で分かち合える、活動性の高い博物館づくりに努める。</p>
		<p>① <u>市民の自発的な地域学習と文化交流の場!</u> 市民が気軽に参加でき、子供、高齢者、身障者共々に交流しあえる、地域学習と文化交流の拠点となる博物館づくりに努める。</p>
		<p>② <u>児童・生徒が見て、触れて、体感できる博物館づくり!</u> 児童・生徒が見て、触れて、体感できる展示資料や楽しみながら学べる場を設け、学校のカリキュラムと連動した教育・普及活動を充実させる。さらに、学校での移動博物館や出前教室などの課外活動を積極的に推進する。</p>

		<p>③ <u>森川公園の水と緑の環境をいかした博物館づくり!</u> 森川公園の環境をいかした博物館づくりに努めるとともに、羽衣伝説の地「森の川」や、公園内の豊かな自然地形・動植物などを活用した自然観察会や民具づくりなど、地域に根ざした体験学習などの教育・普及活動の充実に努める。</p> <p>④ <u>市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、成長する博物館づくり!</u> 市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、博物館活動が成長していく博物館づくりに努める。</p>
<p>二 基本方針</p>	<p>2. 基本方針の体系図</p>	<p style="text-align: center;">＝体系図＝</p> <p>①市民の地域学習と文化交流の場</p> <p>②児童・生徒が分かりやすい地域学習の場</p> <p>③森川公園の水と緑の環境、羽衣伝説の活用</p> <p>④最新の宜野湾市の自然・歴史・文化情報の発信</p> <p style="text-align: center;">【新しい博物館づくりの実施】</p>
	<p>3. 活動方針</p>	<p>① 市立博物館開館以降の常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示を実現するために、「常設展示室のリニューアル」に努める。</p> <p>② 市民と児童・生徒の教育・普及活動の場、学校現場と地域団体の文化活動の拠点となる「体験学習施設」の充実に努める。</p>
<p>三 分野別活動方針</p>	<p>1. 調査・研究</p> <p>2. 収集</p>	<p>① 博物館資料に関連し、市内に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。</p> <p>② 資料の保管及び展示等に関連する市内外に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。</p> <p>③ 調査研究の成果が、常設展示室の内容を深めるとともに、市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に繋がるように努める。</p> <p>④ 調査研究の成果を積極的に公開し、一般市民と児童・生徒の地域学習教材に活かされ、市民の「アイデンティティの創出」に繋がるように努める。</p> <p>① 市の土地に由来し、市民の生活に由来のある資料と、それらに関連する資料の収集に努める。収集にあたっては、市の歴史的変遷、時代的特色、地域的特色を示す資料の調査研究を推進し、収集に努める。</p>

三 分 野 別 活 動 方 針	・保管 (保存・修理)	② 収集された資料は、市民の文化創造の源としての価値を認識し「文化財」として取り扱い、必要に応じて保存処置や修理を施し、常に安全で安定した環境のもとでの恒久的な保存に努める。
		③ 収集・保管された資料は、データベースを整備し、デジタル化することによって資料の円滑で幅広い利活用を促進する。
		④ 沖縄戦と基地接収で流出した在外の歴史・文化遺産の調査を推進し、収集に努める。
	3. 展 示 公 開	① 常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示に努める。また、資料を五感で体感できる手法や、屋外における自然展示や敷地周辺のフィールドの恒常的な活用なども検討し、市民の地域学習と学校教育等に幅広く活用できる取り組みを推進する。
		② 市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に努める。そのことにより、展示内容に関心のある新たな来館者や、新鮮味を求める再度の来館者の増員に努める。
		③ 学術的に裏づけられた正確な資料と情報に基づいて展示を行う。利用者の理解を深め、利便を図るために、映像・音声・情報機器などの視聴覚機器を効果的に配備することによって、観覧者に展示の意図を分かりやすく伝える。
	4. 教 育 ・ 普 及 (学 習 支 援)	<u>学校教育の支援</u> ① 学校教育との連携により、総合学習・社会科見学・職場体験学習・出前授業などの学校教育活動に対して学習課程に対応した支援活動を行い、子どもたちの育成に役立つ博物館を目指す。
		② また、博物館活動と学校教育とが各々目指す方針の接点を整理し、相互に協働して授業メニューを作成したり、調査・研究活動を行ったり、展示室を開放した企画展を開催するなど、学校との連携活動を通して「博学協働体制」の確立を目指す。
		<u>市民への教育普及</u> ① 市民が主体的に学び、自己実現を果たすことができる生涯学習の拠点となるために、学習支援の観点から、誰もが気軽に訪れ、交流する中で、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供する。
		② また、図書館や公民館など、他の社会教育施設との連携を強化し、移動展示会を開催するなど、社会人や高齢者といった大人に向けた学習情報や学習機会の提供を積極的に図る。
		5. そ の 他
	② 他館連携:県内各市町村及び民間文化施設等との連携を図り、文化施設や催し、情報及び歴史・文化遺産や各地の伝統行事・祭事日程等、県内の文化に関する幅広い情報を提供・発信できる文化情報サービス機能の整備を図る。	
③ 広報活動:博物館活動の現況に関する報告、事業計画の予告、調査研究や資料収集・情報収集に関する報告などを、各種出版物、新聞紙面、インターネットなど様々な手段によって広く市民に向け周知していくことに努める。		
④ 施設管理:来観者の“快適で安全な”博物館利用を推進する。		